

1. 目的

- 兵庫県豊岡市の協力の下、新たな制度（レベル3.5飛行）における**ドローン単体での実用化**に向け、**実用化候補地**での配送試行を実施

2. 実施内容

実証場所：兵庫県豊岡市但東町奥矢根地区（出石郵便局配達区内）

実施日：2023年12月18日（月）

使用機体

ACSL社 PF-2



※BOXタイプに加え、複数ヶ所分の郵便物などをマウントできる機構を使用

【配送経路】

※国土地理院地図を日本郵便で加工して作成



【配送手順】

①郵便局敷地内で
配送物をドローンに搭載

②郵便局敷地内の遠隔監視・
操作拠点から離陸を指示

③あらかじめ設定した経路に沿って
配送先エリアに向け自動飛行

④配達

3. 実証機体詳細

● ACSL社（日本）製のドローン「PF-2 Delivery」を使用

動力	: 電動（バッテリー）
航続可能距離	: 10km
最高速度	: 10m/s（36km/h）
最大離陸重量	: 9.8kg
最大積載量	: 1.7kg（80サイズ程度）
運行方式	: 自動航行
耐候性能	: 風速10m/s、降水10mm/h

- ・地上局PC画面で常時遠隔監視
- ・緊急時などには遠隔から操作介入可能
- ・非常用パラシュートを搭載

【外寸】※プロペラ含む

長さ：1,173mm
幅：1,067mm
高さ：654mm



（荷物用ケース搭載時）



（配送物搭載の様子）

4. レベル3.5飛行の概要

・レベル3.5飛行では従来のレベル3で必要とされる立入管理措置(補助者・看板の配置)がデジタル技術の活用により撤廃となり、道路や鉄道等の上空を横断が条件付きで可能となった。

・条件は以下の3つ

- ①二等無人航空機操縦士以上(目視内飛行の限定変更を受けたもの)の国家資格の保有
- ②保険への加入
- ③機上カメラによる歩行者等の有無の確認

	レベル3	レベル3.5(新設)	レベル4
飛行可能ケース	無人地帯における補助者無し目視外飛行が可能	無人地帯における補助者無し目視外飛行が可能	有人地帯における補助者無し目視外飛行が可能
線路や道路等の横断	道路等を横断時に補助者・看板等の配置(立入管理措置)が必要	道路等を横断時に補助者・看板等の配置(立入管理措置)が不要	道路等を横断時に補助者・看板等の配置(立入管理措置)が不要